

東京都初記録・稀な鳥たち

《写真は裏表紙に》

東京都初記録 コウライアイサ *Mergus squanatus*

コウライアイサ雄成鳥1羽が神奈川県との境界の多摩川で観察され、東京都として初記録となりました。この鳥を撮影した大野章氏が野鳥写真家・叶内拓哉氏のウェブサイト“野鳥フォトギャラリー”に投稿されたことから、記録が明らかになったものです。以下、この記録について電話での聴取内容です。

観察・撮影者：大野章氏（川崎市多摩区在住）

観察場所：多摩川中流域の宿河原堰下流約150m、東京側（狛江市）の浅瀬

観察日時：2011年11月21日の10時～15時頃

観察行動：カワアイサ4羽（雄1・雌3）と一緒に行動。下流から飛来し、その後下流へと飛去。なお、ほぼ同時期に神奈川県酒匂川にいたコウライアイサ雄は、大雨のため11月20日～22日は姿を消していたとのことで、多摩川での観察はちょうどこの期間中になっています。また、コウライアイサ雄および同伴のカワアイサ雌の特徴が酒匂川の個体と酷似していることから、同一個体の可能性が高いと考えられます。（野鳥記録委員・大塚 豊）

稀な記録 オオハム *Gavia arctica*

中央防波堤地区海域でオオハム第一回冬羽1羽を記録しましたので報告します。

この記録はすでにユリカモメ3月号鳥信に掲載されていますが、2001年以降東京都での確かな記録が報告されていないため、改めて報告します。

観察場所：江東区青海3丁目地先。中央防波堤新海面埋立地Cブロック南側堤防の外側100mの海上

観察日：2013年1月6日 11時ごろ

観察・撮影者：三間久豊、佐藤松範、川内 博、川内桂子、大塚 豊、小笠剛裕、宮崎雅子

コメント：脇腹後方に白い部分がせり上がっていることからシロエリオオハムではなくオオハムであることが、また肩羽の羽縁が白っぽいことから第一回冬羽であることが分かります。

コグンカンドリ *Fregata ariel*

観察・撮影者：会坂 収氏 **観察場所：**東京都大島町千波 **観察日：**2012年8月20日

コメント：この個体は、当会会員の会坂氏が、伊豆大島南部の海岸沿いの道を車で走っているときに発見したもので、下面の白色部の形状などから幼鳥であると思われます。写真では尾羽が閉じているが、深い燕尾であることを目視確認したとのこと。本種は太平洋～インド洋の熱帯から亜熱帯にかけて分布し、日本での記録は稀。東京都では、2002年7月に多摩湖に飛来して以来の記録とされます。

（野鳥記録委員・田島基之）

ヒメウ *Phalacrocorax pelagicus*

中央防波堤地区でヒメウ1羽を記録しましたので報告します。

この記録は、すでにユリカモメ2月号鳥信に掲載されていますが、2001年以降の記録としては、近年葛西臨海公園などで観察されたとの情報もありますが、確かな記録として報告されていないため、写真とともに報告します。

観察場所：江東区青海3丁目地先、中央防波堤内側埋立地北側堤防外側直近海域

観察日：2012年11月25日 14時ごろ

観察・撮影者：三間久豊、小笠剛裕、宮崎雅子